

## 8. 地域創生

### 8.1 地域創生委員会

委員長：川島 和代（教授（学長補佐））

委員：浅見教授（特任教授兼アドバイザー）、濱教授、垣花准教授、塚田准教授、金谷講師、  
出村事務局長

事務局：宮川主任主事

活動内容：

#### 1. 地域創生にかかわる活動について

平成28年度の本学委員会組織の改変により本学の地域創生事業を所掌する委員会として「地域創生委員会」が新設された。次の3つの事業班（部会）との連携を図りながら各事業を統括している。

##### 1) 地域創生委員会の活動

大学間連携共同教育推進事業「学都いしかわ課題解決型グローバル人材育成システムの構築」石川県における高等教育機関 19の大学・短期大学・高専（大学コンソーシアム石川加盟校）統括本部・事業推進責任は金沢大学が所掌している。

平成28年度にて文部科学省補助金事業の「大学間連携共同教育推進事業」は終了したが、大学コンソーシアム石川内に「グローバル人材育成・共創インターンシップ専門部会」が設置され、事業は継続となった。次年度より本学内でも名称変更が必要である。

##### 2) 平成29年度の成果

本学では、学内授業を『学都いしかわ課題解決型グローバル人材育成プログラム』のスタンダードリストに搭載すること、民泊型フィールド実習の継続、海外研修（タイ チェンマイ大学看護学部、韓国全北大学看護学部等へ隔年で研修）の実施、その他地域ボランティア等に取り組んだ学生活動をHHC科目で認定するなどの活動を継続している。平成29年度はグローバル・ヤングリーダー 1名を輩出した。

### 8.2 能登キャンパス構想事業

実施団体名

能登キャンパス構想推進協議会：

石川県、金沢大学、石川県立大学、石川県立看護大学、金沢星稜大学、珠洲市、輪島市、  
能登町、穴水町

概要

高等教育機関のない奥能登地区をキャンパスと捉え学びの場とすることで能登の活性化（交流人口の拡大や若者の移住・定着等）を目的とした能登キャンパス構想推進協議会に本学が正式加盟して7年目である。本協議会は、石川県（能登半島地震復興基金）、上記4大学、奥能登2市2町が出資して運営している。事務局は輪島市である。

## 8.2.1 能登キャンパス構想事業班

班 長：林 一美（教授）

班 員：牧野教授（研究科長）、谷本准教授、垣花准教授、出村事務局長

事 務 局：宮川主任主事

活動内容：

### 1. 協議会・幹事会の出席

協議会2回、幹事会4回開催があり参加した。

### 2. 活動内容

①今年度は教育研究棟2階の掲示板を活用して能登地区紹介コーナーを設ける、また大学祭に能登地区の6病院の看護部紹介ブースを設ける活動に取り組んだ。

②「能登・祭りの環」インターンシップ事業（当日・短期）「能登町・矢波諏訪祭り」について、インターンシップの準備・広報及び引率をおこない、学生8名の参加があった。

外部報告

該当なし

外部資金

該当なし

## 8.3 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）

実施団体名

（参加大学）金沢大学、金沢工業大学、石川県立看護大学、石川県立大学、金沢星稜大学、北陸大学、金沢学院大学、金城大学、（協力大学）7校

（自治体）石川県はじめ県内すべての自治体20

（企業・団体）企業・団体18

概要

本事業は文部科学省が募集した地(知)の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）に金沢大学が中心となって応募した「金沢・加賀・能登で地域思考型教育による夢と志を持つ人材育成」が採択された。本事業の目的は、地方創生の鍵となる若者の定着と産業と地域の活性化をめざし、グローバルな視点で地域を思考できる学生を育成し、地方創生を担う次世代の人材の輩出、また、地域関係機関（企業・自治体等）と連携した雇用創出を含む地域定着モデルの構築である。平成31年度までに石川県内の学生の就職率10%向上、うち10%は起業等による雇用創出をめざす数値目標を掲げている。

### 8.3.1 COCプラス事業班

班 長：小林 宏光（教授）

班 員：大木教授、垣花准教授、織田准教授、中道講師、川村講師

事 務 局：宮川主任主事

活動内容：

平成29年度、石川県立看護大学は、地域創生概論受講を勧めたが、その他の積極的な活動には至らなかった。大学コンソーシアム石川内の専門部会「グローバル人材育成・共創インターンシップ専門部会」の委員（川島）が、他大学の共創インターンシップの成果報告やプログラムの採択に加わった。

#### 外部報告

該当なし

#### 外部資金

大学改革推進等補助金（地（知）の拠点大学による地方創生推進事業） 50千円

## 8.4 COI事業班

委員長：大木 秀一（教授）

委員：川島教授、塚田准教授

活動内容：

COI (Center of Innovation) 事業の一環として、石川県、保健医療従事者を育成する等の県内外複数大学および企業が参加する北陸ライフケア研究会を通じて、ライフケアに関して情報産業、ビッグデータ処理、看護学など様々な視点から学際的な勉強会、意見交換会を定期的で開催している。

平成29年度、石川県立看護大学は研究会における話題提供者（次世代創造ファンド研究助成事業：ITを活用した配食事業者による高齢者の見守りに関する研究成果の報告）として参加した。今年度をもって北陸ライフケアシステム研究会は解散するため、石川県立看護大学におけるCOI事業班も解散予定である。次年度以降の取り組みは検討中である。